

2018年3月30日

公益社団法人 日本技術士会

日本技術士会 海外活動支援委員会
ベトナム小委員会委員長、副委員長
坂本 文夫、森山 浩光

出張報告「ベトナムにおける技術士による活動支援調査」

2016年12月に、日本技術士会から3名の技術士がベトナムダナン市を訪問した。当時の要請として、建設、道路・交通、環境・農業などの技術部門について、技術指導を要請したいとのことであった。

今回は、それを受けて継続しての出張であり、経済成長著しいホーチミン市、政策を担当し、JICAプロジェクトの実施も多いハノイ市を訪問した。下記のとおり講演・現地調査を実施しましたので、報告します。

1. 出張者：2名

海外活動支援委員会委員、ベトナム小委員会委員長 坂本文夫（技術士－建設）、
海外活動支援委員会副委員長、ベトナム小委員会副委員長 森山浩光（技術士－農業）、博士（農学）

2. 出張期間：2018年2月13日～3月21日（坂本）、3月13日～3月26日（森山）

3. 目的：①ホーチミン市ヴァンヒエン大学における今後の協力内容の打ち合わせ、及び講演、
②ダナン市ダナン技術教育大学における今後の協力内容の打ち合わせ、及び講演、
③ダナン市における工業団地の視察、技術支援の可能性の検討
④ハノイ市投資計画局との打ち合わせ、協力内容の打ち合わせ、
⑤ハノイ市における環境部門の現地調査、技術指導の必要性の検討、
⑥ハノイ市における道路・交通関係、特に地下鉄関係の技術指導についての可能性の聴取
⑦その他、JICA、JETRO 他からの関係資料の入手

4. 訪問先：19か所（大学（3）、工業団地（3）、人民委員会（2）、企画投資省（1）、交通局（1）、
農業農村開発省（1）、JICA（2）、JICAプロジェクト（3）、JETRO（1）、
一般廃棄物処理場（1）、研究所（1））

5. 内容および成果：

（1）大学における今後の技術支援の打ち合わせ、講演の実施；

- ①ダナンおよびホーチミンにおいて、今後の技術指導について、打ち合わせを行った。両者とも日本技術士会からの協力を期待するとのことであった。
②ダナン大学からは、2018年11月頃に大学を訪問してほしいと要望があった。予算の関係もあり日

程は未定であると回答した。

③相手の要望に合わせ講演を実施した。技術士会の紹介および技術士の技術レベルを知るのに、良い機会となった。

④ハノイの JICA 日越大学大学院プロジェクトのプロロジェクト専門家にお会いし、情報を得た。次回は大学院総長に面会することを依頼した。

(2) 企画投資画局などの日本技術士会の活動の承認

- ① 企画投資局次長と面会し、日本技術士会の技術士が、ベトナムにおいて、活動することは了解した。大学や工業団地を訪問することは、必要に応じ各地の人民委員会へ了解を取っていただき、実行できることを確認した。

(3) 技術支援分野の確認

- ① 建設・道路・交通関係については、今後も継続する。
- ② 環境・農業については、一般廃棄物処理場、有機農業研究、Viet GAP、堆肥生産、の現場を訪問し、情報を得た。うち、一般廃棄物に関しては、すでに、ベトナム政府の方で実施しているので、日本技術士会としては実施しないこととした。有機農業や食品については、今後要請が出れば、対応する用意をすることとした。

6. 結果

協力の中心となるダナン市においては、人民委員会を訪問し、日本技術士会の訪問目的を説明した。また、ダナン大学とダナン技術教育大学（技術師範大学）と打ち合わせを行い、技術士の技術指導を要請する場合は、会が選考した技術士を出張させる方向を議論した。

ベトナムの経済成長は進んでいるが、未だ日本人の旅費・交通費をベトナム側が支払いできる状況にないが、今後、各地域の工業団地をつなぐ窓口を確定し、工業団地や大学を卒業した起業家への技術指導をしていけるよう準備していく。

また、JICA による技術協力への連携協力や「高等専門学校」のプロジェクトの形成への連携を検討する。

次年度である 2019 年度後半に大学において技術講演の実施および工業団地等調査を行うこととし、2019 年度も海外活動支援委員会にて協議を重ねていく。

7. 出張旅費：543,062 円（2 名出張）

8. 今後の計画

2018 年度（2018 年 4 月～2019 年 3 月）の出張予算（2 人分）を申請し、活動を継続することとする。早めに予算を確定することにより、日程、フライトを早めにおさえることとしたい。

以上